

## 文芸

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。漢字にはふりがなを記入し、数種類に投稿する場合は別にしてください。広報投稿作品の、他への重複投稿はご遠慮ください。

### 短歌

末武 有一選

野辺の樹に通草かずらは絡みゆき小さく揺れる花の紫  
安永 守住 孝子

地震に揺れ倒れたままの桜樹も季節忘れず花を飾れり  
安永 福田 圭子

五十年地震にも耐えし庭桜 根株の若木ともに花咲く  
惣領 島田 廣子

一枚と散るも楽しい花吹雪 老いの花見の心躍らす  
安永 山下たか子

「大丈夫 回復する」と励ました ダンス教師は黄泉の国へと  
安永 金子フム子

ほろほろと舞う花びらに立ち尽くす ダム一面に鶯の声  
安永 川野 光子

暖かき春の日差しに誘われて宴目論む サクラガサイタ  
赤井 増岡 伸禧

桃一輪きりつくしてもそこに咲く 再生の春そこまで来てる  
古閑 井上 誠二

濃く淡くみどり漲る山脈に仄かな色して椎の花咲く  
広崎 松原まゆみ

鮮やかに庭に広がる芝桜 春の日差しを浴びて輝く  
惣領 新井 露子

春陽を光優しい散歩道 土手の土筆も背伸びしている  
小谷 今吉マキ子

### お願い

投稿は、一人一首でお願いします。

### 俳句

河野 全平 選

城は無惨さくらは耐えた行幸坂  
惣領 坂口由美子

ランドセル親の期待の荷を背負い  
赤井 増岡 伸禧

花ふぶき舞い散る空に飛行機雲  
小谷 今吉マキ子

その花は蜜蜂来たよ蝶々さん  
馬水 西田 正己

クラス会「農事多忙」と欠席す  
古閑 井上てつ子

チューリップ色もとどり咲きにけり  
広崎 松原まゆみ

花むしろ杖つき同土笑い声  
木山 今吉美江

おしのびの陛下の背に散るさくら  
木山 山口サツキ

忘却とは幸の一つか別れ霜  
田原 辻ヶ峰子

一旬鑑賞  
働いて遊ぶたのしさ夏来る  
吉田 小幸

### 川柳

布田川左門 選

『お題』 復興

解体の家へ愛犬行きたがる  
小谷 まさのり

復興へ出る幕もなし腰曲がり  
氏名不詳

※参考例

復興せな清正公に相すまん

『お題』 自由詠

温暖化花見仕度も繰り上げる  
赤井 西山恵美子

※参考例

今日から自由一人暮らしの女子大生

### お知らせ

川柳のコナールはペンネームを6字以内とします。

### 川柳のお題

「はらはら」または自由詠

益城の文化財  
町文化財保護委員会



砥川

ありまけじゅうたく  
有馬家住宅(1)

砥川の有馬家は、先に本紙で紹介した西園寺家の分家で、下砥川集落の南端の高台にあります。主屋は東側妻壁に大きな「三ツ絵」があり、平面は、西側に大きな「土間」、土間に接して南側に八畳の「おもて」、六畳の「げんかん」(仏間)、床・棚・付書院と切目縁を備えた八畳の「座敷」が設けられ、北側には十畳の「茶の間」、六畳の「中ん部屋」、八畳の「先ん部屋」が並んでいます。

建築年次については平成二十六年の調査で「棟札」が見つかり、文久三(一八六三)年と判りました。今から百五十五年前に建つられたものです。「棟札」は建物の建築時、棟上げに際して、安全祈願とその家の繁栄を願う祭事を行います。その時、祈願文と棟上げの年次、建て主の氏名、大工棟梁の氏名などを